

2019年(令和元年)7月27日(土曜日)

三島市 補助金問題

副市長「来月会見で報告」

半年以上たち公表へ

三島市のPRを行う任意団体で市が事務局を務める「市地域ブランド推進協議会」への市の補助金が、必要な手続きを経ずに交付された問題で、内部調査委員会委員長の梅原薫副市長は二十六日、報告書の公表について「できれば次回(八月二十三日予定)の記者会見で報告できればと考えている」と述べた。当初の予定は二月上旬だったが、半年以上たつ八月下旬になってようやく公表される見通しとなった。

(佐久間博康)

内部調査委は昨年十二月に開かれた。メンバーは梅原副市長、補助金交付の手續の市民による刑事告発の長ら幹部職員六人で、今月の事実認定、問題の発生動きを受けて、同月設置された。四月日まで九回の会議を原因を中心に調査している。

三島市地域ブランド推進協議会への補助金交付問題。市が補助金を交付するために本来、必要な審査会を開催せずに2016年10月、協議会に200万円を支出した。

市は当初「16年9月14日に協議会を開催し、その会議後、審査会を実施し、審査員了承済み」としていたが、市産業文化部長は昨年11月の市議会で「審査会は

る。

本紙が情報公開請求で入手した九回目の会議の概要には、公文書作成の起因や再発防止策の記載を検討し、定例記者会見で発表を行うこととした、と記されている。

梅原副市長はまた公表できない理由を「職員の事務処理に関しての内容の調査なので、やはり慎重な上に慎重に調査を進めないといけない」と説明。「なるべく広範囲に調査が必要。そういう意味でも時間をかけて作業をしている。内容については差し控える」と理解を求めた。

三島駅南口の
再開発修正案

知事「変わらぬ印象」 市長「説明を尽くす」

JR三島駅南口東街区の再開発事業を巡り、三島市、地権者の準備組合などが、建設を計画する高層マンションなどが入るタワー棟の高さを下げる修正案を示したことについて、川勝平太知事は二十六日、「修正前と大して変わらない印象。駅前に高層マンションがそぐわないという考えは今も同じ」と語った。

定例会見で発言した。修正案は二十一日、三島市が市議会に示した。三島駅前で計画されているタワー棟の高さを現計画の九九・五メートルから、約九メートル下げた二階建てにするとしている。計画を巡り、川勝知事はこれまで「富士山の玄関口となる駅前にマンションは似合わない」などと指

摘、豊岡武士三島市長に懸念を伝えてきた。川勝知事は、市が市民を対象に行ったアンケートで高さを下げる意見があった点を引き合いに「市民からも相当数の反対の声がある。どうすれば三島の格を上げるか、発展をもたらすか。十分に話し合わないといけない」と述べた。一方、豊岡市長は二十七日の会見で、「知事の理解を得られるよう、今後も説明を尽くしたい」と話した。豊岡市長は「今年四月に内容を説明した際、知事は『皆さんが決めることですね』とおっしゃった」と明らかにし、「皆さん」とは「市当局や議会、市民の皆さん」とした。(西田直晃、佐久間博康)